

3-③手術室使用麻酔別件数

手術室を使用して行った麻酔の1年間の件数です。手術だけでなく侵襲を伴う検査でも全身麻酔や区域麻酔を必要とする場合があります。

区域麻酔とは、腰や背中等特殊な場所に局所麻酔薬を入れることにより、手術（検査）部位を含めた部分に麻酔をかける方法で、全身麻酔と比べて身体全体への影響は少ないのが特徴です。また、手術によっては全身麻酔と併用する場合もあり、併用する場合の件数は全身麻酔に含まれています。

【実績】

2020年度	972件
2021年度	1,092件
2022年度	1,164件

